

令和4年度地域包括医療・ケア研修会

○期 日 令和5年1月13日(金)・14日(土)

○研修会会場 富士ソフト アキバプラザ(東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル5F)

◎メインテーマ 人口減少社会を見据えた地域包括ケアの未来を考える
～コロナ禍から学んだこと、取り組むべきこと～

時 間	【第1日】 ー 1月13日(金) ー
13:30～13:40 (10min)	○開講式 主催者挨拶 小野 剛(公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長) 小出 顕生(公益社団法人国民健康保険中央会審議役)
13:40～13:45	*舞台転換(5min)
13:45～14:55 (70min)	○講演〔I〕 演題:「国民健康保険制度と地域包括ケアシステム(仮)」 講師:高木 有生(厚生労働省保険局国民健康保険課長) 司会:海保 隆(国診協副会長/千葉県・国保直営総合病院君津中央病院長)
14:55～15:00	*休憩(5min)
15:00～15:40 (40min)	○講演〔II〕 *国診協会長講演 演題:「情勢報告(仮)」 講師:小野 剛(国診協会長/秋田県:市立大森病院長)
15:40～15:50	*休憩(10min)
15:50～17:00 (70min)	○講演〔III〕 演題:「地域で医師をどう育てる(仮題)」 講師:白石 吉彦(島根大学医学部附属病院総合診療医センター長) 司会:萩野 正樹(地域医療・学術委員会委員/福井県:南越前町今庄診療所長)
17:00～17:05	*休憩(5min)
17:05～18:15 (70min)	○講演〔IV〕 演題:「人口減少、医師偏在にどう立ち向かうか(仮題)」 講師:江角 悠太(三重県:志摩市民病院長) 司会:清水 幸裕(地域医療・学術委員会副委員長/富山県:南砺市民病院長)

時 間	【第2日】 — 1月14日(土) —
9:00~10:40 (100min)	<p>○パネルディスカッション〔I〕 演題：人口減少社会を見据えた地域包括ケアの未来を考える ~コロナ禍から学んだこと、取り組むべきこと~ ※発表者各20分、ディスカッション30分、講評10分 発表者①：澁谷 咲子（三重県立一志病院看護部長） 発表者②：廣瀬 英生（岐阜県・県北西部地域医療センター副センター長兼 国保白鳥病院副院長兼国保小那比診療所長） 発表者③：須藤 泰史（徳島県・つるぎ町立半田病院 病院事業管理者） ディスカッション： 講評：大原 昌樹（国診協副会長／香川県・綾川町国民健康保険陶病院長） 司会：村上 英之（国診協地域医療・学術委員会委員長）</p>
10:40~10:50	*休憩（10min）
10:50~12:00 (70min)	<p>○講演〔V〕 演題：コロナで改めて分かったフレイル、オーラルフレイルへのアプローチ（仮題） 講師：平野 浩彦（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長） 司会：木村 年秀（地域医療・学術委員会委員／ 香川県：まんのう町国民健康保険造田歯科診療所長）</p>
12:00~12:40	○昼食
12:40~13:50 (70min)	<p>○講演〔VI〕 演題：「医師少数地域における総合診療外科の日常 ~コロナ禍の気付きと病院総合診療への期待・展望を含めて~」 講師：八巻 孝之（独立行政法人国立病院機構宮城病院総合診療外科部長） 司会：中島 恭二（地域医療・学術委員会委員／ 滋賀県：甲賀市立信楽中央病院長）</p>
13:50~14:00	*休憩（10min）
14:00~15:30 (90min)	<p>○パネルディスカッション〔II〕 演題：「診療所が面白い~オンリーワンの〇〇〇〇」 ※発表者各20分、ディスカッション15分、講評15分 発表者①：今江 章宏 （医療法人北海道家庭医療学センター寿都町立寿都診療所長） 発表者②：嶋本 純也 （愛媛県：愛南町国保一本松病院副院長兼福浦出張所長） 発表者③：中田 和明 （兵庫県：香美町国保免塚歯科診療所長） ディスカッション： 講評：中村伸一（国診協副会長／診療所委員会担当） 司会：和田智子（国診協診療所委員会委員長）</p>
15:30	<p>○閉講式 閉会挨拶 海保 隆（公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会副会長）</p>